ダニ対策

●他のコースよりも高い温風温度でダニ対策する範囲を乾燥させます。
●ダニは逃げることがあるため、対策できない場合があります。

ダニ対策に必要なもの

●掛けふとん・敷きふとん1組……ダニ対策するふとんです。
●軽めの掛けふとん、または毛布……保温用のふとんです。
●掃除機……運転終了後、ダニの死がいやフンを取り除くために必要です。

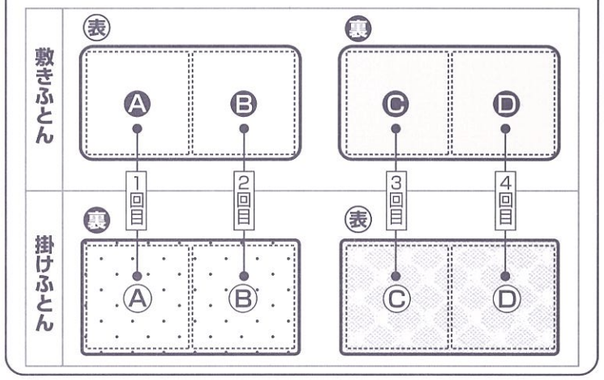
すべての面（4面）のダニ対策に必要な時間

●ダニ対策コース90分×4回：約6時間

●ダニの種類によってはダニ対策できないものもあります。
●温風が届きにくいところ（ふとんのすみなど）や冬場など室温が低いときは、温度が上がらないため、十分にダニ対策ができないことがあります。
●ふとんの耐熱温度が70℃以上であることを確認してください。

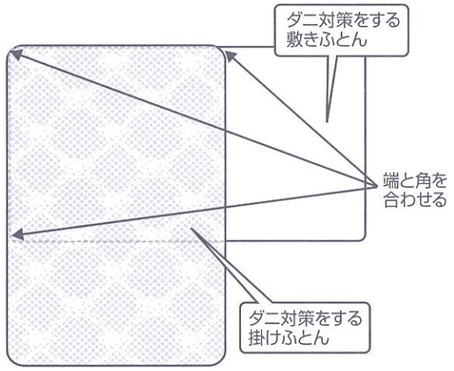
1回の運転でのダニ対策の範囲

●1回目……敷きふとん「表-A」と掛けふとん「裏-A」をダニ対策
●2回目……敷きふとん「表-B」と掛けふとん「裏-B」をダニ対策
●3回目……敷きふとん「裏-C」と掛けふとん「表-C」をダニ対策
●4回目……敷きふとん「裏-D」と掛けふとん「表-D」をダニ対策

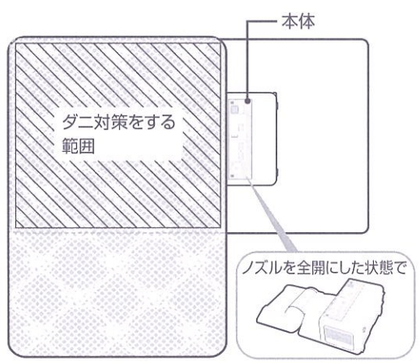


1 ふとんと本体をセットする

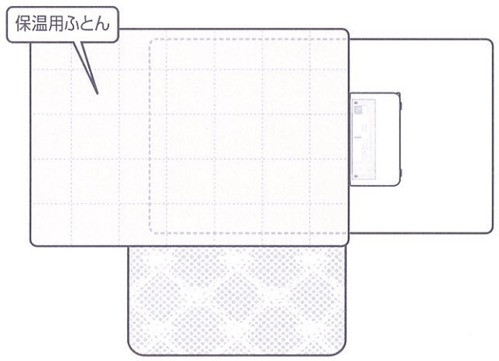
①ダニ対策をする掛けふとん・敷きふとんを図のように置く



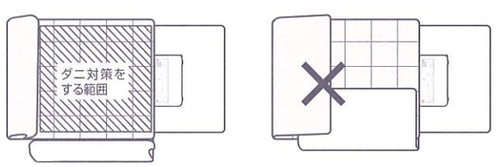
②本体をノズルを全開にした状態で置く



③ダニ対策をするふとんに保温用のふとんを図のように掛ける



●掛けふとん・保温用ふとんの端が邪魔になるときはダニ対策をする範囲にかからないように折り畳んでください。
ダニ対策をする範囲にかかると十分にダニ対策ができないことがあります。

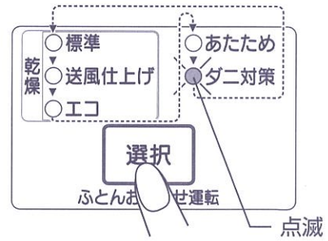


2 差込みプラグをコンセントに差し込み、電源 入/切 キーを押す

3 選択 キーを押し、「ダニ対策」コースを選ぶ

キーを押すごとにランプ（点滅）が移動して設定が切りかわります。

乾燥・標準 → 乾燥・エコ → 送風仕上げ → あたため → ダニ対策



4 スタート キーを押す

●「スタート」キーを押さずに10分経過すると自動的に電源が切れます。

ダニ対策ランプ・90（分）ランプが点灯し、運転を開始します。
運転が終了するとブザーが鳴り、自動で電源が切れます。（ランプ消灯）

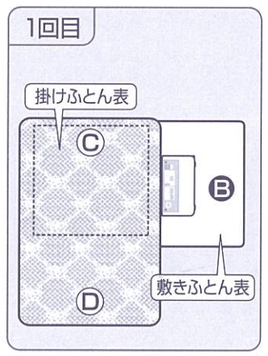
途中で終了したいときやコースを変更するときは

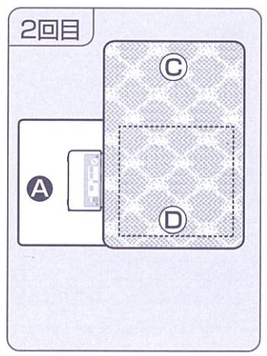
①「電源/入/切」キーを押す
●本体冷却のため約20秒間送風したあと、運転を停止します。
（冷却中に差込みプラグを抜かないでください。）
②コースを変更する場合は続いてP.8～9の手順3～5を行う

5 ダニ対策されていない面が乾燥されるように手順1の要領でふとんと本体をセットし、手順2～4を繰り返す

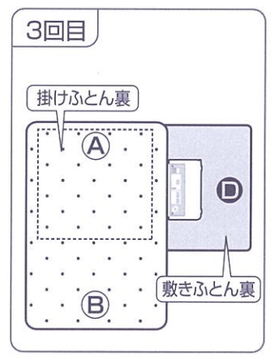
●すべての面のダニ対策を完了するためには、ふとんの面をかえて、手順1～4を計4回行う必要があります。

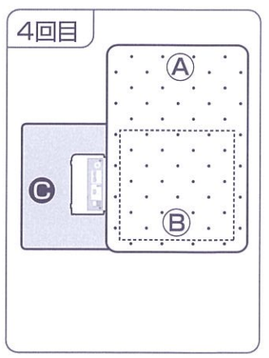
●敷きふとんは動かさずに掛けふとんと本体を図のように移動させて、保温用のふとんをかけてください。





●2回目の運転が終了したら、掛けふとん・敷きふとんをそれぞれ裏返し、ダニ対策をします。

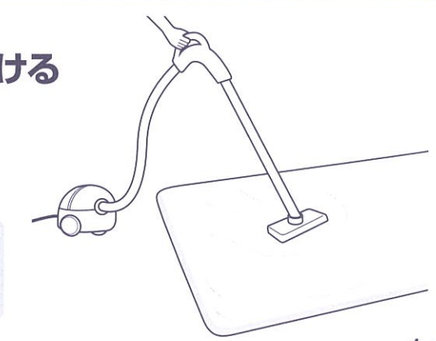




6 差込みプラグをコンセントから抜き、全ての運転終了後、ふとんに掃除機をかける

●運転終了後は本体が熱くなっていますので、注意して取り出してください。
●使用しないときはノズルを閉じて保管してください。

ダニの死がいやフンなどは、アレルギー疾患の誘因になりますので掃除機でよく取り除いてください。
（その際、掃除機用の「ふとんノズル」などをつけると、より効果的です。）



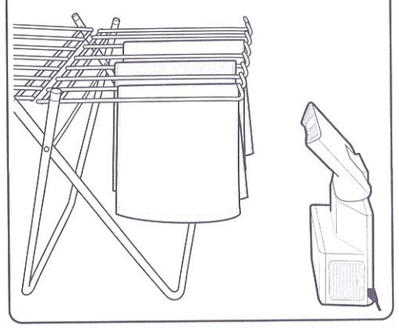
「温風」・「送風(革製品)」コース

●「温風」コース…衣類・運動靴などの乾燥に
●「送風(革製品)」コース…革製品(合成皮革含む)など熱に弱いものの乾燥に

1 本体を立てて置き、ノズルを開く

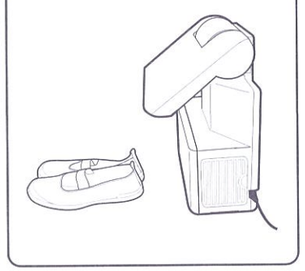
セット例 ●吹出口を衣類などに向けてください。

タオルハンガー

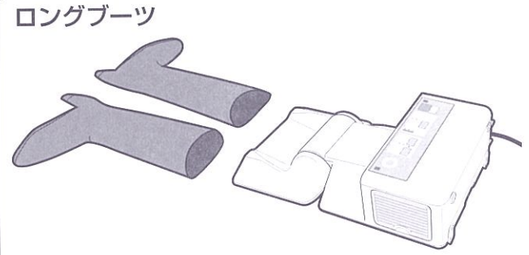


ピンチハンガー

上履き



ロングブーツ



こんなときに

●生乾きの洗濯物の乾燥に
●洗濯物のゴムの部分やポケットの裏生地などの乾きにくい部分の乾燥に

乾燥時間の目安

乾燥させるもの	コース	数量・条件など	乾燥時間
タオル	温風	フェイスタオル　10枚 バスタオル　2枚	120分
体操服	温風	上下1組	45分
上靴	温風	1足(ビニール製)	30分
運動靴	温風	1足	120分
ロングブーツ	送風(革製品)	1足(革製)	120分

●乾燥時間は目安です。
使用環境(部屋の広さ、温度、湿度など)・使用条件(衣類の干し方、種類など)によって変化しますので実使用時間とは異なる場合があります。乾燥が足りない場合は、乾燥時間を追加してください。

乾燥の条件

●部屋の広さ:6畳
●室温:20℃
●湿度:70%

●衣類などは家庭用洗濯機で約5分間脱水させたもの
●靴などは乾燥したタオルで水分を拭き取ったもの

2

差込みプラグをコンセントに差し込み、

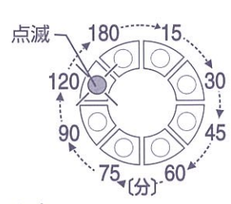
[電源/入/切] キーを押す

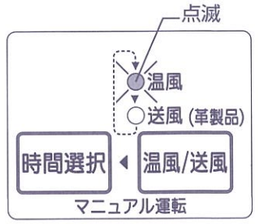
3

① [温風/送風] キーを押し、「温風」または「送風(革製品)」コースを選ぶ

キーを押すごとにランプ(点滅)が移動して設定が切りかわります。

温風 → 送風(革製品)





② [時間選択] キーを押し、運転時間を選ぶ

キーを押すごとにランプ(点滅)が移動して設定が切りかわります。

120(初期) → 180 → 15 → 30 → 45 → 60 → 75 → 90

4

[スタート] キーを押す

選択したコースのランプと残り時間のランプが点灯し、運転を開始します。
運転が終了するとブザーが鳴り、自動で電源が切れます。(ランプ消灯)

●運転中に「時間選択」キーを押すと運転時間を変更できますが、6時間連続で運転すると安全のために運転を停止します。
●運転終了後、乾燥が足りないときは、再度乾燥させてください。

●「スタート」キーを押さずに10分経過すると自動的に電源が切れます。

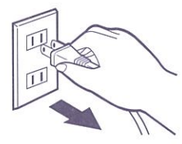
途中で終了したいときやコースを変更するときは

①「電源/入/切」キーを押す
●本体冷却のため約20秒間送風したあと、運転を停止します。
(冷却中に差込みプラグを抜かないでください。)
②コースを変更する場合は続いてP.8～9の手順3～5を行う

5 使用後は

差込みプラグをコンセントから抜く

●運転終了後は本体が熱くなっていますので、注意してください。
●使用しないときはノズルを閉じて保管してください。



お願い

●「温風」コースを使用するときは、乾燥させる衣類などの耐熱温度が70℃以上であることを確認してください。
特に機能性寝具(低反発や高反発素材・ビーズ素材・パイプまくらなど)は温風の温度により機能を損なうことがありますので、必ず寝具メーカーに確認してください。
●耐熱温度が70℃未満のものを乾燥する場合は、「送風(革製品)」コースを使用してください。
●吹出口の真上に衣類などを干して乾燥させないでください。
●本体(操作部)にものを近づけすぎるとふとん検知センサーが働きますので近づけすぎないでください。
●雨でぬれた靴やブーツなどは、あらかじめ乾いた布で水分を取ってから乾燥させてください。
●運動靴のひもは結び目を緩めて、靴の内側に入れて乾燥させてください。

いろいろな使い方

■押入れ・クローゼット

本体を立てて置き、ふすまを開けた状態でノズルを押入れに向けて「温風」または「送風（革製品）」コースで運転してください。

●本体を押入れやクローゼットの中に入れて使用しないでください。

■赤ちゃん用ふとん

「送風（革製品）」コースで運転してください。

■シンク下や洗面台の下

とびらを開けた状態でノズルを向けて「温風」または「送風（革製品）」コースで運転してください。

■タンスの引き出し・衣装ケース

本体を立てて置き、引き出しを開けた状態でノズルを引き出しに向けて「温風」または「送風（革製品）」コースで運転してください。

■レインコート・雨傘

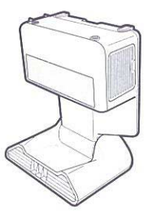
水分をよくふき取り、「温風」または「送風（革製品）」コースで運転してください。

●「温風」コースを使用するときは、乾燥するもの・温風が当たる部分の材質、耐熱温度（70℃以上）を確認してから使用してください。
耐熱温度が70℃未満のものを乾燥する場合は、「送風（革製品）」コースを使用してください。

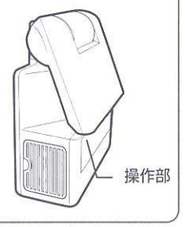
こんな使い方はしないでください！

十分な性能が得られなかったり、破損・故障の原因になります。

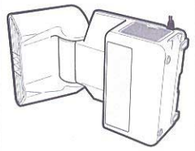
●逆さ置き



●操作部に風が当たる角度で運転

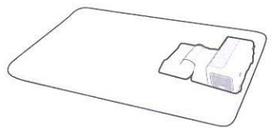


●横置き

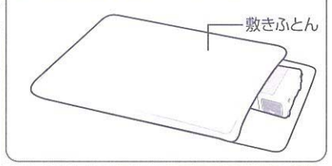


●ノズルを閉じたまま

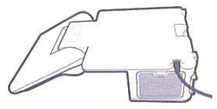
●敷きふとんのみの運転



●敷きふとんを掛けて運転

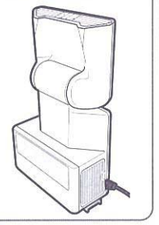


●操作部を下に向ける



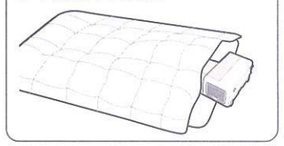
●ノズルに衣類などを直接掛ける

●衣類などの真下で運転する

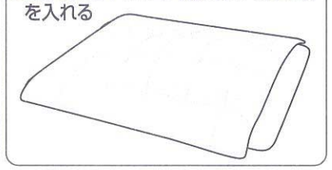


●不安定な場所

●不安定な置き方



●ふとんの中に本体（操作部・吸込口）を入れる



お手入れ

●本体が冷めてから行ってください。
●差込みプラグを抜いた状態で行ってください。（けが・感電の原因）

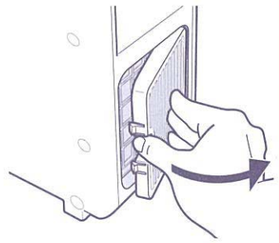
お願い

●製品に水をかけたり丸洗いしないでください。（故障の原因）
●シンナー・ベンジン・アルコール・台所用中性洗剤以外の洗剤（アルカリ性洗剤など）・ナイロンたわし・ブラシ・みがき粉などは使わないでください。（変質・変色・傷つきの原因）
●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

本　体 ノズル フィルターカバー	①水で薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れをふき取る ②固く絞った柔らかい布でふく ③乾いた柔らかい布で水分をふき取る
コード	乾いた柔らかい布でふく
フィルター部	ほこりがたまっているときは、フィルターカバーをはずし、掃除機で吸い取る ●フィルターが破れないように注意してください。 ●フィルターははずさないでください。

フィルターカバーの取りはずし方・取りつけ方

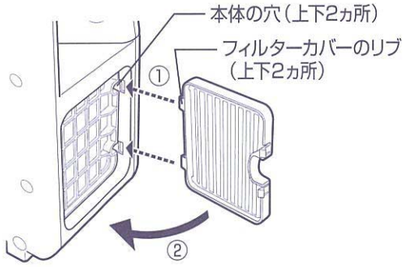
●取りはずし方



●取りつけ方

①本体の穴にフィルターカバーのリブを差し込む

②フィルターカバーを押しつけて取りつける



長期間保管するときは

①各部のお手入れをする
②ノズルを閉じて、製品をポリ袋などに入れて密封し、個装箱に入れて保管する
●コードはポリ袋の中に入れて、緩衝材と直接触れないようにしてください。

お願い

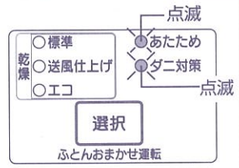
コードの傷みやほこりのたまりが思わぬ災害の原因になることがあります。
安全に長期間使用していただくため、ときどきお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

故障かなと思ったとき

●修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

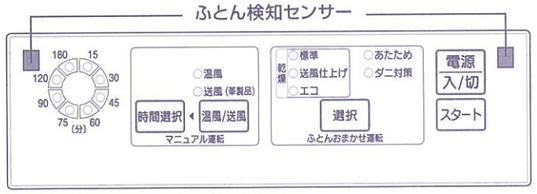
こんなときは	お調べいただくこと	直し方
運転しない	差込みプラグがコンセントからはずれていませんか?	差込みプラグをコンセントに接続してください。
	「電源/入/切」キーを押しましたか?	「電源/入/切」キーを押してください。
	「スタート」キーを押しましたか?	「スタート」キーを押してください。
温風が出ない	「送風(革製品)」コースを選んでいませんか?	コースを選び直してください。
	吸込口や吹出口がふさがっていませんか?	吸込口・吹出口をふさいでいるものを取り除き、再度運転してください。
	「標準」「送風仕上げ」「エコ」コースは、運転開始後、一定時間送風運転します。(コースにより送風運転の時間は異なります。) P.7「コースの説明」をご覧ください。	
ふとんが乾燥しない ふとんがあたたまらない	ふとんは正しくセットされていますか?	ふとんを正しくセットしてください。(→P.8)
	重たいふとんを使用していませんか?	重たいふとんを使用するときは、温風が足元まで行き渡るように、運転後軽く掛けふとんを持ち上げてセットしてください。
	吸込口や吹出口がふさがっていませんか?	吸込口・吹出口をふさいでいるものを取り除き、再度運転してください。
	フィルターが汚れていませんか?	フィルターをお手入れしてください。(→P.15)
	ノズルは全開になっていますか?	ノズルを全開にして使用してください。
運転中に「カチッ」と音がする	温度調節器が動作している音です。異常ではありません。P.5「安全機構について」をご覧ください。	

こんな表示が出たら

こんなときは	お調べいただくこと	直し方
ブザー(ピピッ、ピピッ…)が鳴り続け、あたためランプ・ダニ対策ランプが点滅する 	ふとん検知センサーが働いています。	ふとん検知センサーの上にものがかぶらないようにして、「スタート」キーを押してください。運転を再開します。

ふとん検知センサーについて

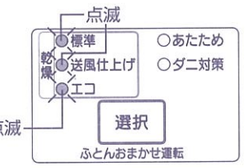
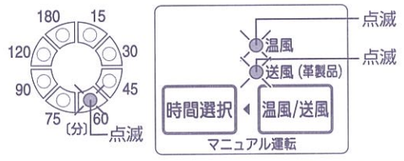
●ふとん検知センサーは操作部に2カ所あります。



ふとん検知センサーは、ふとん以外のものにも反応します。
2カ所のふとん検知センサーのどちらか一方または両方が検知すると運転を停止します。

●以下のような使い方を2秒以上続けると、ふとん検知センサーが働いて運転を停止します。(ブザー音とランプ表示でお知らせします。)

- ●操作部をふとんの中に入れる
- ●操作部にふとんや服などを掛ける
- ●ふとん検知センサーの近くにものなどを置く
- ●ふとん検知センサー周辺部を手や体などで覆う

ブザー(ピピッ、ピピッ…)が鳴り続け、標準ランプ・送風仕上げランプ・エコランプが点滅する  ●「電源入/切」キーを押して電源を切り、右の項目をご確認の上、ご使用ください。	操作部に温風が当たっていませんか?	操作部に温風が当たらないようにしてください。
	ふとんは正しくセットされていますか?	ふとんを正しくセットしてください。(→P.8)
ブザー(ピー、ピー、ピー…)が鳴り続け、温風ランプ・送風ランプ・60ランプが点滅する  ●差込みプラグをコンセントから抜き、製品を冷ましたあと、右の項目をご確認の上、ご使用ください。	ノズルを閉じたままで運転していませんか?	ノズルを開いて運転してください。
	吸込口や吹出口がふさがっていませんか?	吸込口・吹出口をふさいでいるものを取り除いてください。
	フィルターが汚れていませんか?	お手入れしてください。
	ふとんは正しくセットされていますか?	ふとんを正しくセットしてください。(→P.8)

◎いずれの場合にもあてはまらない場合には、型名とともにお買い上げの販売店、または弊社のお客様ご相談窓口までお問い合わせください。

仕 様

型　　名	RF-AA20
電　　源	交流100V　50/60Hz
消 費 電 力	715W/705W（室温：20℃）
質　　量	約4.1 kg（コードバスケット含む）
外形寸法（約cm）	コードバスケットなし:幅28×奥行13×高さ35　コードバスケットあり:幅33.5×奥行13×高さ35
コードの長さ	2.6m
タ イ マ ー	15・30・45・60・75・90・120・180（分）
安 全 装 置	電流ヒューズ・温度ヒューズ

●この製品はセラミックヒーターを搭載しています。運転中は室温など使用環境の変化により消費電力が変動します。

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary. After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.

此产品只针对于日本国内专用交流电压 100V 所设计。由于各国所使用电压或电源频率不同,请勿使用于其它地区。
另亦无法对此提供售后维修服务。

此產品為針對日本國內專用交流電壓100V所設計。由於各國所使用電壓或電源頻率不同，請勿於其他地區使用。
另亦無法對此提供售後維修服務。

본 제품은 일본 국내교류 100V전용으로 설계되었기에 전압이나 전원 주파수가 상이한 외국에서는 사용할 수 없습니다.
A/S 또한 불가능합니다.

アフターサービス

1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

3. 修理を依頼されるとき

≪保証期間中≫

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

≪保証期間を経過しているとき≫

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 6年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター　0570-011874
ナビダイヤル® 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間　9:00～17:00　月曜日～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）
●携帯電話・PHS・IP電話など（ナビダイヤルが利用できない電話）でのお問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・Tel （06）6356-2451
●ファクシミリでのお問い合わせ・・・・Fax （06）6356-6143

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043　大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ　http://www.zojirushi-de-shopping.com/